



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

2025日音協沖縄行動

沖縄復帰53年平和行進と県民大会に参加

2025日音協沖縄行動を5月16日から17日まで開催しました。昨年はたらくものの音楽祭を開催した沖縄文化芸術劇場なはーとの大ホールにおいて、復帰53年第48回2025・5・15平和行進全国結団式がおこなわれ、坂口副会長と東京の須田さんと根本が参加しました。

第一部では対馬丸記念館館長の平良次子さんから、基調講演「戦争の実相から平和を創る」を受けました。

第二部では共同代表による主催あいさつや嘉手納基地コースと普天間基地コースに分かれる平和行進正副団長・本土代表タスキ授与式および決意表明、諸注意事項および団結がんばろうで翌日の平和行進の意思統一をしました。夜は那覇市内の「Folk Bar After 5」に、松本会長も合流し、地元から嘉数さんと石川さん、平良さんと山城さんも加わり、ミニコンサートを開催、沖縄県支

部の仲間と「Piggies」が演奏しました。その後は一般のお客様の演奏も加わり、参加者同士の交流を深めました。

17日は東京の織田さんも合流し、嘉手納基地コースの出発地点の読谷村役場へ向かいました。出発式のあと平和行進がスタートし米陸軍トリイ基地、大木・古堅・大湾の各交差点、比謝橋を経由して嘉手納町役場にほど近い嘉手納町民広場で昼食休憩。午後は水釜・砂辺交差点から嘉手納基地第1ゲート、国体道路入口・伊平・美浜交差点を経由して「Agrestia アム北谷」まで合計12・5kmを、「命こそ宝」他、沖縄のたたかいかから生まれた歌や平和をめざす日音協ソングを行進しながら歌で訴えました。今回は特に行進への妨害がひどかったのですが、行進団のほぼ最後尾で参加した私たちは気持ちでは負けないようにうたい続けました。また5月の日差しを受けながら、コースの大半で、基地のフェンスが道路脇に広がり、国道58号線の両側でフェンスが続くところもあり、まさに基地の島沖縄を目の当たりにしました。5・15平和とくらしを守る県民大会では玉城デニー沖縄県知事などがあいさつで決意表明と仲間との連帯を誓い合ったのち、県民大会宣言を確認しました。



歌いながらの平和行進

その後日音協沖縄行動感想会を開催しました。「初めて参加しいろんな意味で勉強になった、基地周辺を歩いて体験した」「今までは演奏を入れたり平和学習のプログラムを組んだこともある。丸一日歩くのがきびしい人もいるなかで次回以降も声を聞きながら行動の内容を考えたい」「うたいながらの行進は日音協らしい」「コンサートも行動も充実した二日間だった」「沖縄県支部の仲間とコンサートで演奏ができた、また来年も一緒に沖縄行動をお願いします」などと発言があり終了しました。今回、人数は多くはなかったですが新たな出会いも生まれ充実した沖縄行動になりました。来年の平和行進も、新たな交流と学習などによる平和運動と音楽運動の新たな一歩となるような取り組みにしたいと思っています。

(根本賢治)

第56回はたらくものの音楽祭

2025年10月18日(土)~19日(日) 長野県千曲市・戸倉創造館



村岡会長のあいさつ

音楽夜話会2025

Music & Talking night party in Kakunodate

Date & Time 2025.5.17(sat) 15:30 Open

開催会場 Karaoke room box ゴリラのはなたば

夕暮れは
夜話会の
あとみち

この夜話会では
Night Partyと
は言い難いね
なまゼン



佐藤正和



くまたんず



集まった老若男女の皆さん

Opening River Side Grass ♂

●移動音楽広場のテーマ 詩&曲 全電通旭川支部音サ協

Mic Vo.1 Cho.1
Syn.1 <line-in>MS.2
e-AcG.1<Di>
Chair.1

15:30

日音協秋田県支部 会長あいさつ 村岡厚史
〔Cheers〕

Mic Vo.1

15:34

阿部尚夫

Mic Vo.1 MS.1
AcG.1 <Mic-in>
Chair.1

15:37

●マイナ保険証はいらない 詩&曲 阿部尚夫

●政治に目を向けよう 詩&曲 阿部尚夫

●酒場で 詩&曲 フィル・オクス 訳 阿部尚夫

佐藤正和

Mic Vo.1 MS.1
acco.1 <Mic-in>

15:50

●うた 詩 佐藤 信 曲 林 光

●ほうせん花 詩 キム・ヒョンジク 訳 窪田 聡

●なんという胸の痛みだろう 詩&曲 ビオレータ・バラ 訳 上田達生

下総 大

Mic Vo.1 MS.1
AcG.1 <Mic-in>
MS.1 Chair.1

16:03

●安心な未来を 詩&曲 下総 大

●うた 詩&曲 藤川ツトム

●たずねておいで 詩 安沢ひろみ 曲 まとばよしお

くまたんず

Mic Vo.1 Cho.1
acco.1 <Mic-in>
MS.2 Chair.1

16:16

●折り鶴 詩&曲 梅原司平

●ふるさとは今も変わらず 詩&曲 新沼謙治

●にじ 詩 新沢としひこ 曲 中川ひろたか

大嶋忠男

Mic Vo.1
AcG.1 <Mic-in>
MS.1 Chair.1

16:29

●しらす畑 詩 鹿兒島青年合唱団 曲 満枝清人

●泣く子はいねえが 詩&曲 大嶋忠男

●カントリーロード 詩 不明 曲 ジョン・デンバー

River Side Grass ♂

Mic Vo.1 Cho.1
Syn.1 <line-in>MS.2
e-AcG.1<Di>
Chair.1

16:42

●旅にでよう 詩&曲 磯野宏之

●嘘だったんですね 詩&曲 後藤雅裕

●プレゼント 詩&曲 Baby Baba

桜庭智英

Mic Vo.1
AcG.1 <Mic-in>
MS.1 Chair.1

16:55

●エンドラインを越えて 詩&曲 大沢隆男

●あたたかな風が流れる時に 詩&曲 大沢隆男

●ありがとう 詩 津谷さつき 曲 桜庭智英

Sing Out

Mic Vo.1
AcG.1 <Mic-in>
MS.1 Chair.1

18:00

夜話会終了

機材撤収

解散

18:30

主催 日本音楽協議会秋田県支部

後援 未来への選択ネットワーク / 大曲仙北平和運動推進労働会議

大仙・仙北・美郷平和運動連絡会 / 大曲仙北農会議

【プログラム原本は、カラー多彩で趣きもあるのですが、転載するとなると不鮮明となるため、白黒加工としました。】

やっぱ歌ってみたいから参加した

音楽夜話会NONO - C KAKUNODATE

会場となった仙北市角館のカラオケボックス『ゴリラのはなたば』には、演者&聴衆で18人が集まり音楽夜話会が開かれた。

35年ほど前に非核平和宣言が取り組まれていた時代に、角館では4年続けて、地区労青婦部などが中心となって、地元商店街から広告料を提供していただいて、小山孝さん・窪田聡さん・坂上うたさん・ブービーバンドの皆さんを招いて、「非核平和の町コンサート」を開いていました。

それ以来のコンサートですが、その当時からメンバーとその同僚が参加者のほとんどで、これは同窓会かという感じでもあり、30年ぶりの再会もあったりでしたが、地元仙北市職からも参加があつて予定時間を1時間延長する盛会となりました。

歌があつてお酒もあつて、仲間の歌を聴きながら思い出話や生活や世の中への不満や憤りなど話が、あつちいたりこちこちたりでしたが、相も変わらずそれぞれの心の立ち位置はあの時とそんなに変わってはいませんでした。

歌う現場がなければ音楽運動は思うように前に進むことができないわけで、どうやって現場を作るか。どこに現場をつくるか。そこで何を歌うか。どうやって歌うか。悩みながらも前を向いていこうということかな。

(後藤雅裕)

五月晴れの全道メーデー FMカンパニー大いに歌う



5月1日、五月晴れのなか第96回北海道メーデーは大通公園西8丁目3000人を集めて開催された。

FMカンパニーは祭典前の9時から30分間の前段演奏とパレードに出る前の送り出し演奏を担った。気温は18度、例年になく暖かく澄み切った青空に大通公園では桜が満開に咲き誇り、祭典会場の雰囲気は上々。

メンバーはギター、ボーカルに桑野功、エレキギターに沼前光則、ベースに佐藤満、カホン・ボーカルに吉田雅人、ボーカルに磯野宏之・佐藤和弘・的場芳男・榊原ねっちゃんの計8人。現役2人に退職者6人と既にシニアバンドになっているFMカンパニーだが、何時になくテンションが上がり調子。オープニングの「晴れた五月」から「政治を変えるぞ」「Aひるば」などを披露。「世界をつなげ花の輪」など9曲を歌い前段を終えた。

送り出しは、チャックベリーの「ジョニー・B.グッド」の替え歌で「オートニ（大谷）GO GO」「メーデーGO GO」とツイストダンスを踊り歌うと、会場では手拍子をしたりと最高潮。

最後の一人が出発するまで計8曲の演奏が続けられた。

祭典終了後は、佐藤会長宅の車庫にて恒例の「FMカンパニーメーデー」を開催。BBQとお酒を堪能しメーデーをお祝いした。
(磯野宏之)



平和憲法を守ろう!



日音協茨城県支部は開会前に歌を披露。会場の関係で楽器が使えないことから、アカペラで「決意」「私は忘れない」「僕らの暮らしは辛抱だらけ」「世界とともに」の4曲を5名の仲間が歌いました。
ハモリの部分も何とかこなしてうまく歌えたのではないかと参加者一同自負しています。
(金田光弘)

茨城県支部が演奏

茨城県平和フォーラムなどが主催する「憲法擁護市民のつどい」が5月3日に水戸市のザ・ヒロサワシティ会館分館で開催され、約150名が集まりました。



岩手県支部が総会開催

5月24日（土）、二戸市の「なにゃーと」で岩手県支部の総会を開催しました。コロナ禍以降、集会などで歌う場面がなくなりましたが、少しずつ働きかけにより増えてきました。「集会には歌を」と言っていただけるよう、これからも活動していきたいと思います。

昨年から二戸地区・久慈地区で取り組んだ歌声喫茶では、終わりに必ず日音協の歌を歌い、一般の方々に聞いてもらう場を作り、特に「大きな橋」を広げていけると活動してきたことが報告されました。その他にもいろいろなコンサートに参加し、日音協の歌を聴いてもらえるような活動をしていきたいということも話されました。情宣だけでなくSNSなどの活用を進めることでも歌う場面を周知することができ、参加してみようという気持ちにつながるのではという意見も出されました。

総会後半では、今の状況を交流しました。「再任用として働いているけれど、給料は減り、人数が少ないため仕事が多くなった」「再任用でも帰るのは最終になることもめずらしくない」など働く仲間の状況も聞くことができました。退職者が増えている岩手県支部ですが、働き方を考える時間を持つことができました。(佐藤幸子)

日音協の年間行動(予定表)

- 5/15 長野音楽祭企画書、発文配信
- 5/24 第6回幹事会
- 5/24 岩手県支部総会
- 5/30 東北北ブロック合宿打合わせ
- 5/31 久慈地区うたごえ喫茶
- 5/31-6/1 日音協セミナー・ステージ
スタッフ講座
- 6/1 音楽運動 677 (6月号)
- 6/4 長野音楽祭長野県実行委員会
- 6/8 福島県支部幹事会
- 6/28-29 全国代表者会議
- 6/29 第7回幹事会
- 7/1 音楽運動 678 (7月号)
- 7/13 那覇市議選告示
- 7/20 那覇市議選投開票日
参議院選挙投開票日(予定)
- 7/26 被爆80周年原水禁世界大会
福島大会
- 8/1 音楽運動 679 (8月号)
- 8/4-6 被爆80周年原水禁世界大会
広島大会
- 8/7-9 被爆80周年原水禁世界大会
長崎大会
- 8/10-11 日音協 Next Stage
- 8/15 (仮称) 戦後80年・くりかえす
な!!戦争への道を!! うたごえ集会
I 女性会議と共催(青森駅前広場)
- 8/22-23 FMカンパニー合宿
(江別市・ペンション優)
- 8/28 出演申し込み締切/音楽祭企画・
スポットライト決定/清風園宿
泊・全国交流会申し込み締切
- 8/30 はたらくものの音楽祭 in AKITA
- 8/30-31 関東ブロック合宿
(茨城県・牛久市)
- 9/1 音楽運動 680 (9月号)
- 9/10 までに、宿泊・全国交流会費など
の料金請求書送付
- 9/13 食とみどりと水のフェスティバル
(秋田、秋田県支部出演)
- 9/20 出演内容締切
- 9/23 さようなら原発 9.23 全国集会
- 9/26 司会原稿・舞台配置図提出締切
- 9/27-29 東北北ブロック合宿
(青森県・八戸市)
- 10/1 音楽運動 681
- 10/3 までに、料金振込完了
- 10/17 長野音楽祭仕込み
- 10/18-19 第56回はたらくものの音楽祭
- 11/1 音楽運動 682
- 12/1 音楽運動 683
- 12/6 会計監査
- 12/6 第62回日音協定期総会
- 12/7 第1回幹事会
(今後、追加・変更の可能性があります)

北信越ブロック合宿開催



新緑香る菅平高原の鈴蘭館において、5月10日、11日、北信越ブロック合宿を、中央から松本会長、合唱講師に東京都支部森理子さんをお招きし、総勢16名で開催しました。合宿のメインは長野祭典で発表する北信越合同の合唱曲(タイトルはマル秘)の練習で、講師にはPTAに教えるスタイルでない優しい方をお願いした結果、楽しい中にも充実した練習で、参加者一同感激した様子でした。次は怖い方も体験したいなあと、思

う私であります。

ステージスタッフ講座
開催中
5/31(土)~6/1(日)
南大塚地域文化創造館

参加者は13名
長野音楽祭の成功に
向け、スキルアップ中。

(報告は来月号にて)

(塚本昇)

夜の交流会は、ほぼ全員が何らかを発表し、笑いあり、感動ありと、大変有意義なものとなりました。これから長野は祭典に向けあらゆる知恵を結集し全国の仲間をお迎えすることに集中していきます。ご期待あれ!

長野音楽祭
あらゆる力を結集し全国の仲間を迎えます



今年もメーデーでうたえ 香川県支部フル稼働で演奏

4月26日(土)はサンポート高松広場で県中央集会。5月1日(木)は坂出グランドホテルで中讃東集会でした。

メンバーは入れ替わりながら、定期練習日に選曲練習した「がんばろう」「武器を捨てて」「聞け万国の労働者」「どんなに時が流れても」「Peace & happy」「政治を変えるぞ」「ラブ地球」を時間の許す

限り歌いました。

坂出グランドホテルは大会議室の良い音響で風呂の鼻歌気分。

サンポート広場では高田会長のミキサーが不調。音量が意図せず急変でビックリ。買い替えるそうです。

(細川 剛)



はたらくものの音楽祭ステージあれこれ話し 第13弾

【コンデンサーマイクの性能とメリット、ついでにデメリット】

従来の演奏に使われているダイナミックマイクは、コンデンサーマイクと比較すると、集音範囲が狭く感度が弱い。口元または楽器がマイクから離れるほど音を拾いにくくなり、コンデンサーマイクは、ダイナミックマイクと比較すると、集音範囲が広く高感度。離れた音も拾うので、合唱であれば一人一人の音を拾うのではなく、合わさった声、明瞭な言葉としての声として拾います。楽器であれば楽器本来の音、ギターであればギターの擦れる音まで拾います。デメリットは、高感度ゆえにハウリングを起こしやすい、雨風に弱いなどが挙げられます。

【はたらくものの音楽祭でのコンデンサーマイクの使用について】

コロナ明け以降の『はたらくものの音楽祭』では、コンデンサーマイクを使用して発表する演奏が増えてきました。昨年の音楽祭では、『Periodista』『メーデー合唱団』『林音協』『東京都支部』『日本私鉄労働組合総連合会』『自治労音楽協議会』でした。特に、自治労音楽協議会は、楽器をアンプに接続し、コンデンサーマイクで集音することで電子楽器の音も含

め、ステージ上の音をコンデンサーマイクで集音することを成功させており必見です。

YouTubeで、従来のマイクの使い方と発表している演奏と比較して上記の団体の演奏を聴いていただくと、先に述べたコンデンサーマイクのメリットを実感いただけると思います。YouTubeでのご視聴は、日音協ホームページから、またはYouTubeサイトで、「日音協」「第55回はたらくものの音楽祭」で検索するとヒットします。

【おまけの話「ダイナミックマイクとコンデンサーマイク」】

従来使われてきたダイナミックマイクが悪いマイクで、コンデンサーマイクが良いマイクと理解されてしまつたのを避けるために、おまけの話です。演奏形態に合わせて上手に使い分け、どちらも良いマイクです。

昨年の音楽祭でも、ダイナミックマイクを上手に使われている団体はいくつもありました。なかでも、『ついでに』『新潟県支部』の演奏は素晴らしく、言葉もよく聞き取れ、ダイナミックマイクの性能を十分に活かすマイク使いをされていると感じました。ダイナミックマイクの場合は、顔を上げ、口元が真っ直ぐマイクに向かっていて、音がよく聞こえることが大事ですね。

【まとめ】

特に、1本のマイクを複数人数で使用するような演奏、合唱、コーラスが主の演奏の場合は、コンデンサーマイクをお勧めします。

ただし、合唱、コーラスであっても、ソロが多いとか全体の声量も弱い団体、また、1人1本のマイクで思いっきり歌いたいという団体、バンド形式(ドラム、キーボード、エレキ、ベースでボーカル少数など)の団体の演奏には、ダイナミックマイクをお勧めします。(坂口美日)

水道橋だより

▼沖縄平和行進で根本さんが新聞の取材を受けました。その記事を紹介します。▼日本復帰から(5月)15日で53年となった沖縄県で17日、基地負担軽減を求める「平和行進」が行われた。米軍基地の縮小は見通せず、自衛隊の「南西シフト」が続く中「基地のない平和な島」の実現を願い、米軍嘉手納基地などの周りを県民ら1950人(主催者発表)が歩いた。県民大会も開かれ、米兵による事件の再発防止を訴えた。▼晴天で汗ばむ暑さの中、参加者らは「基地のない沖縄を」「命(ぬち)どう宝」「命こそ大切」などと書かれたはちまきやゼッケンを身に着け「戦争のない世界をつくろう」などと声を上げた。▼千葉県から参加した会社員根本賢治さん(54)は「嘉手納基地周辺で心臓に響くような航空機の騒音を聞き驚いた。少しでも沖縄の負担軽減につながれば」と話した。県によると、国土面積の約0.6%の沖縄に、全国の在日米軍専用施設の7割が集中している。・・・▼東京新聞やデーリー東北、その他の新聞にも掲載されました。(佐藤)

歌の力が物語るもの142

葉英坂うた行動5/23(544回)報告 Rico

【参加者】かおるさん、ゆきさん、イサさん、守屋さん、周平さん、塚本さん、達哉、森 計8名

ゆきさんは先週、沖縄の平和行進に参加してきたので、その報告をしてみよう。行進は嘉手納基地をまわるコース・普天間基地をまわるコースとふたつに分かれ、日音協は嘉手納コースだったそう。一昨年に、嘉手納コースを歩いたことを思い出した。基地の間を通る道で、行けども行けども両側はずっと基地で、その大きさに驚いた。県民大会はすごく盛り上がった。西田議員のひめゆり

りの塔をめぐる発言もあったからだ。あれはあまりにひどかった。東京でも先週金曜日に自民党本部前で抗議行動があった。官邸前の『原発いらない金曜行動』と重なっていたため私は参加できなかったが、守屋さんとイサさんは自民党本部前に行った。両方大事な行動だからと、気持ちを互いに託しながら行動を分けた。沖縄の平和行進と県民大会の成功は嬉しいが、怒りの素が次々起こるのは悔しいし情けない。今年は米兵による女性への暴行や、政府による事件の隠蔽も繰り返された。沖縄の怒りは如何ばかりか。前回作ってきた追加の歌詞

カードの曲を歌った。前回は雨で、歌詞カードが濡れてしまったためあまり歌えなかったが、今日は大丈夫。市野さんの『消費税の歌』は「ふじの山」の替え歌だ。「打ち出の小槌 消費税 1%で2兆円」と、歌いながら「そうだったのか」と思われる。国会の消費税論議の中で石破首相が「本当に困っている人に行き渡るための税の使い方云々」とか言っていたが、困っている人からもむしり取るのが消費税じゃないか。歴代の首相が登場する『表紙を変えたって』を続ける。「米はもたえるから買ったことがない」発言の江藤元農水大臣の話も出た。よく恥ずかしくもなく言えるものだ。「売るほどある」とまで言うならフードバンクや子ども食堂に配れよ、と盛り上がる。

闘つかあさんのうたを歌いたくて『かあさんの歌』をリクエスト。「母さんは今宵もまた国会前で歌う」とは私たちのことだ。そして歌い続ける。『あたりまえの地球』『双葉の秋』『原発なくたって』『D.O.！廃炉』などなど。ゆきさんのリクエストで『原爆を許すまじ』も歌詞カードに加えた。楽譜もコピーしてきたのだが、音がかなり高く、一音下げることにした。

終了時間が近づき、かおるさんの手話付きで『大きな橋』『メッセージ』を歌って終わろうとしたら、塚本さんが到着。他の用事を終えて、こんなぎりぎりの時間でも葉英坂に来てくれたことに感謝。最後に一緒に歌える曲をと『ふるさと沖縄』を歌った。

帰り道で聞いたのだが、塚本さんはカリンバを自作されるそう。大きな音は出ないけれど、音色が優しいカリンバ。今度持ってきてくださいとお願ひした。葉英坂に歌の仲間が増える。楽器も増えていく。とても嬉しい。



カリンバ

どん行

(191)

飯島貞親

から改憲の先例を作ろうといふ安倍晋三時代の姑息な試みの焼き直しにすぎない。

▼今年の5月3日付各紙の憲法問題の扱いは低調だった。自公が過半数に足りず、改憲勢力と見なされる維新と国民民主のほか右派小政党や無所属の一部までかき集めても、改憲発議に必要な3分の2に達しない状況では、当然だろう。▼その中で、目立ったのは読売新聞で、この日に向けて実施した世論調査結果を一面で「改憲に賛成が60%、議論を活発に、74%」と伝えた。しかし、何をどう変えるかの内容抜きに「憲法改正の是非」を問うやり方は無意味ではないか▼自民党が掲げる①自衛隊の根拠規定の明記 ②緊急事態条項③参院選の合区解消 ④教育の充実の4点のうち、①に熱心なのは自民党だけ。②については維新、国民民主のほか立憲の一部にフリッジを掛ければ3分の2を確保できるかもしれないという程度であり、「改憲勢力」の中身はガタガタ・スカスカとなつていゝ▼緊急事態条項の非常時における衆議院議員の任期への柔軟対処という話は国会法が衆議院規則に書き込めば済むことで、憲法問題ではない。同様に③④も法改正で足りること、それをことさらに改憲のテーマとするのは「やりやすいところから改憲の先例を作ろう」という安倍晋三時代の姑息な試みの焼き直しにすぎない。